

「立地適正化計画」策定中！

パネル展の目的

現在、町では令和6年度末を目途に、新たなまちづくりの計画である「下諏訪町 立地適正化計画」の策定を進めています。

本パネルは、本町が取り組んでいる協働のまちづくりの一環として、現在策定を進めている「立地適正化計画」に関する情報を、町民の皆様にお知らせすることを目的としています。

計画策定に対して、ご意見・ご感想等をお寄せ頂ければ幸いです。

ご意見・ご感想は備え付けの用紙にご記入いただき回収箱へ投函してください

書いてみようかな！

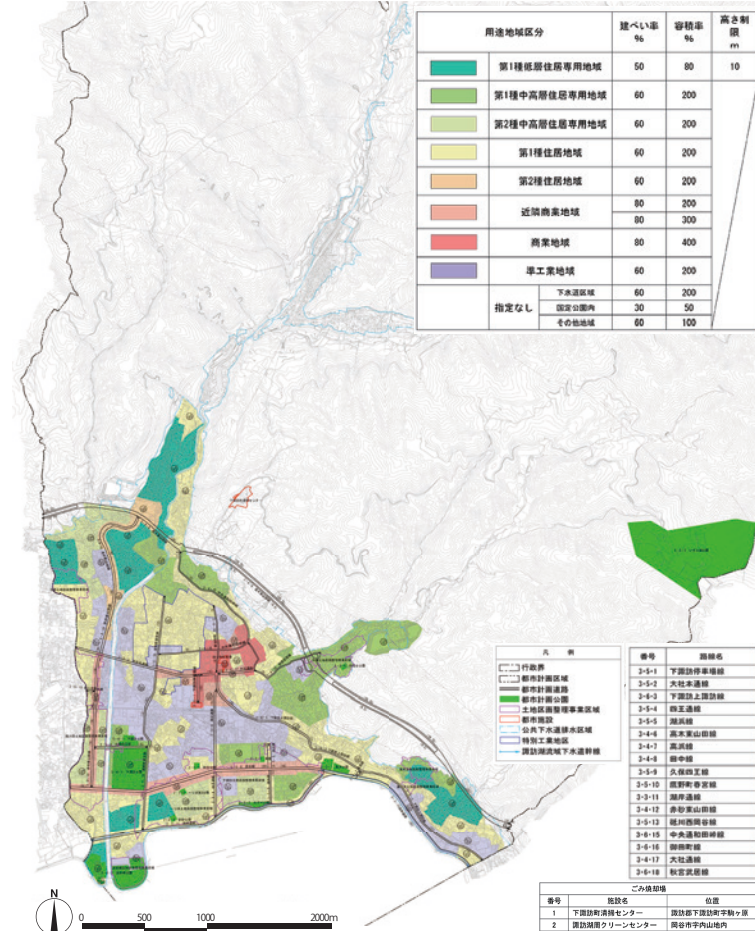


出典：下諏訪町都市計画マスタープラン

下諏訪町のこれまでのまちづくり

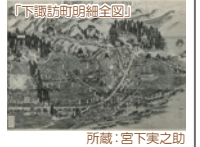


都市計画図



下諏訪町のあゆみ

明治	26年	1893年	町制施行
	29年	1896年	和田峠新道(現国道142号)が開通
	38年	1905年	鉄道院中央東線(現JR中央本線)富士見・岡谷間開通、下諏訪駅開業
大正	08年	1919年	湖畔道路が開通
	14年	1925年	町役場新庁舎が完成
	09年	1934年	室戸台風により春宮大門さわら並木が倒木、1,156戸に被害
昭和	33年	1958年	岡谷市東山田、東町を編入
	34年	1959年	国鉄バスが運行開始
	45年	1970年	町役場新庁舎が完成
平成	53年	1978年	新和田トンネルが開通
	56年	1981年	中央自動車道 諏訪ICが開設
	61年	1986年	長野自動車道 岡谷ICが開設
令和	01年	1989年	下諏訪総合文化センター開設
	15年	2003年	町内循環バスあざみ号の運行開始
	18年	2006年	平成18年7月豪雨 承知川中流部や湖岸の広範囲で浸水被害発生
	03年	2021年	令和3年8月豪雨 土砂災害により国道142号が不通



所蔵：宮下実之助



所蔵：下諏訪町立諏訪湖博物館・赤穂記念館



所蔵：みらい



所蔵：金子ねこ



出典：町勢要覧

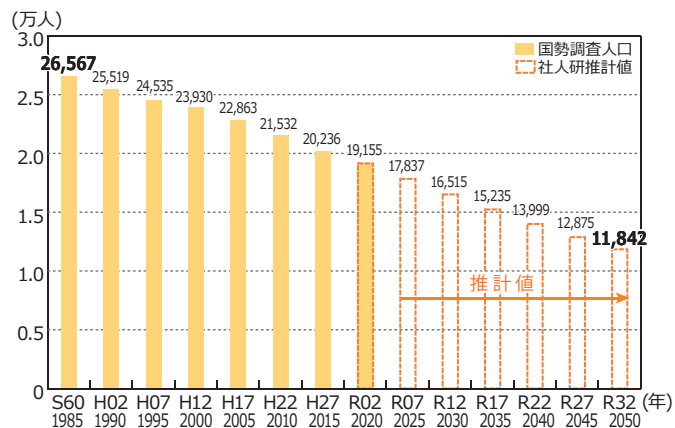


下諏訪町のまちづくりの現状と課題

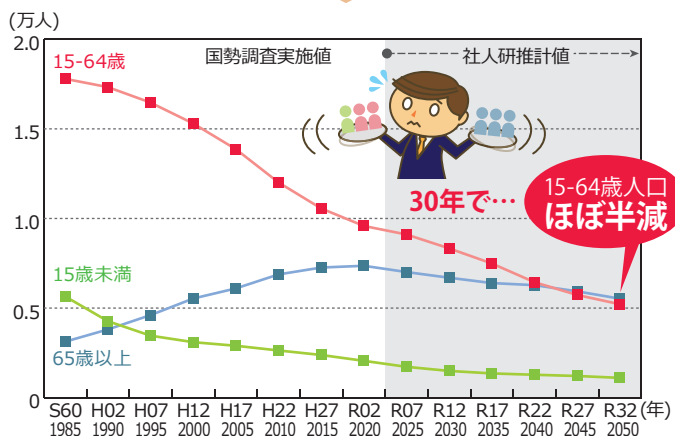
持続性あるまちづくりを進めていくためには、以下のような課題に対応していく必要があります

人口減少による地域活力低下

下諏訪町の総人口は昭和45（1970）年をピークに、一貫して減少を続けており、このままの減少が続くと令和2年からの30年間で人口が38%減少、年齢別に見ると15～64歳の生産年齢人口が、ほぼ半減することが見込まれています。



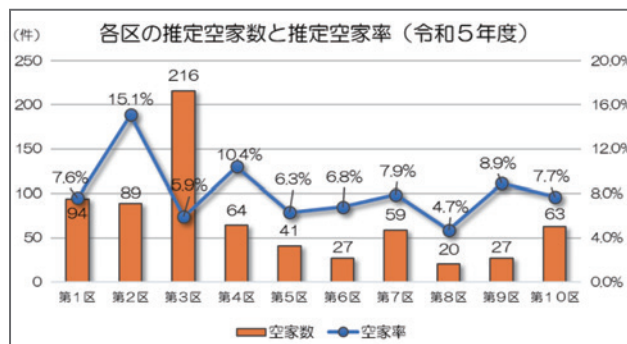
年齢別でみると…



出典：国勢調査、社人研人口推計（令和5年推計）

市街地における低未利用土地、空家の増加

人口減少に伴い市街地においても低未利用地が多く見られます。空家実態調査によれば、町内の推定空家件数は増加傾向にあります。



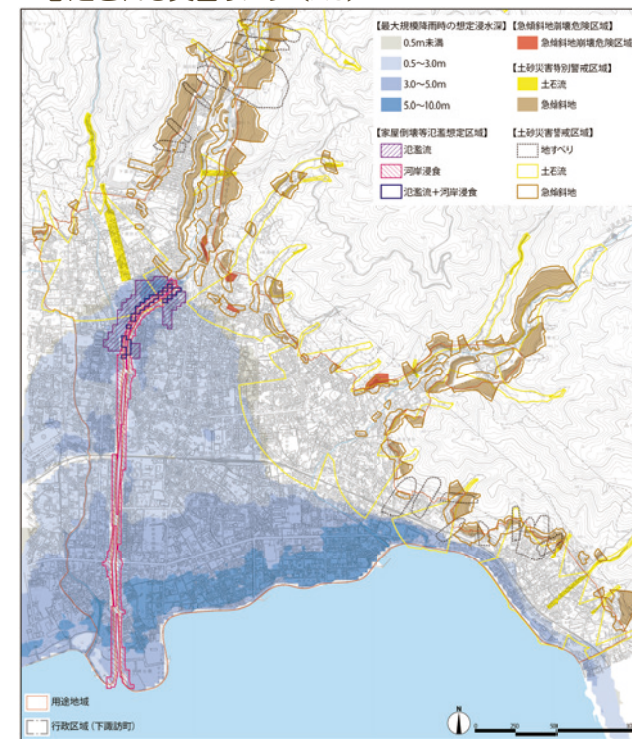
出典：「下諏訪町空家等対策計画（第2期）」（R6.4）



災害リスク

市街地が諏訪湖・砥川などの水域と背後の山地に囲まれており、土砂災害や水害のリスクがあります。中心市街地は木造建築物が密集しており、地震火災等による延焼が懸念されます。

■想定される災害リスク（R3）



出典：下諏訪町 立地適正化計画（中間報告書）

今後のまちづくりの方向性（案）

居住誘導

誰もが安心して暮らし続けられる居住環境の形成

都市機能誘導

まちの資源を活かし、地域活力と交流を育む都市機能の誘導

公共交通

生活と交流を支える持続可能な地域公共交通の実現

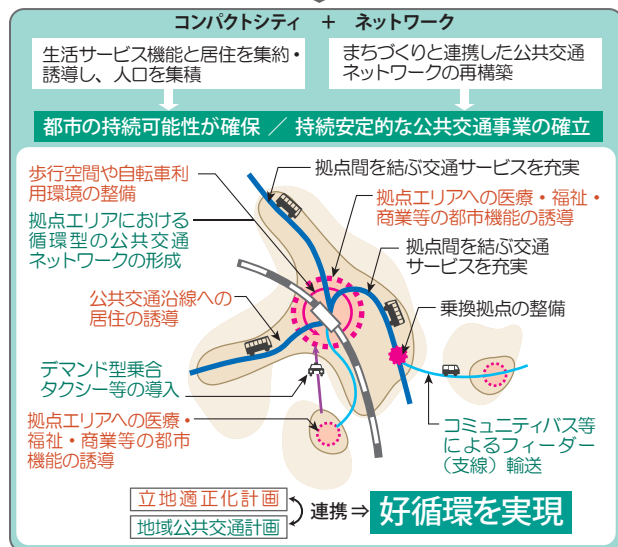
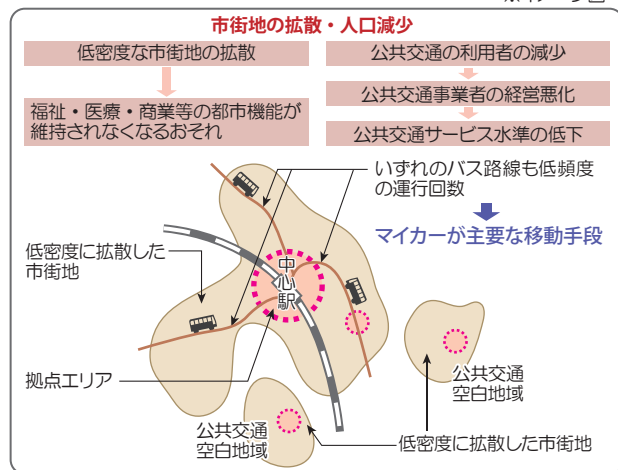


出典：くぐると下諏訪

「立地適正化計画」とは

立地適正化計画は、人口減少のなかにあっても居住誘導により市街地の密度を維持し、拠点に都市機能を集約誘導し持続性を保ちながら、拠点と都市内各地域を公共交通で結ぶ「コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり」を目指す計画です。立地適正化計画によりコンパクトなまちづくりを推進していくことで、持続可能な都市運営や生活利便性の維持・向上、地域経済の活性化を図っていきます。

※イメージ図

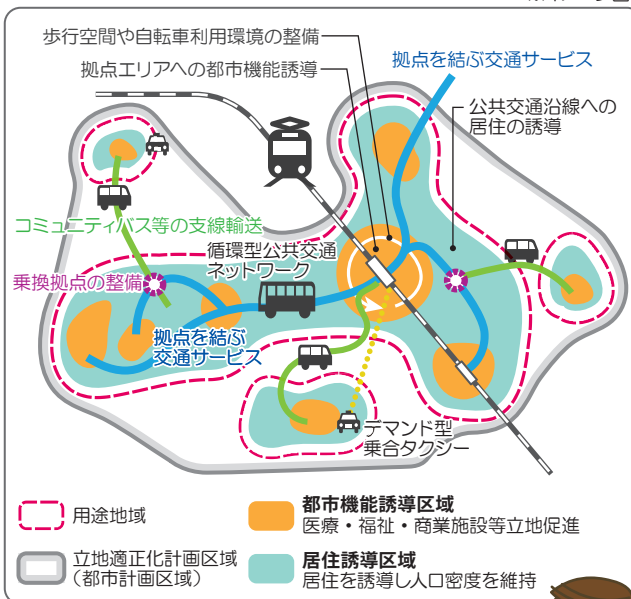


立地適正化計画で定める事項

■誘導区域

人口や都市機能を誘導する誘導区域を設定します。

※イメージ図



誘導区域は、居住や立地を“規制”するものではなく、緩やかに“誘導”するものです

■防災指針

災害リスクなどの課題を抽出するとともに、都市の防災に関する機能を確保するための方針を策定します。あわせて、この方針に基づく具体的な取組を位置づけることにより、居住誘導区域における防災・減災対策の充実に努めます。

■誘導施策

都市や市街地が抱える課題を解決するための具体的な施策を位置づけます。国等が行う施策、国の支援を受けて市町村が行う施策、市町村が独自に講じる施策があります。

立地適正化計画の位置づけ

【上位計画】

下諏訪町総合計画（「第2期未来を創る総合戦略」を含む）
都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（下諏訪都市計画）

↓ 即する

下諏訪町都市計画マスタープラン
下諏訪町 立地適正化計画

↑ 連携

【関連計画】

公共施設総合管理計画、高齢者福祉計画、地域防災計画、
国土強靱化地域計画、観光振興計画 等

今後の策定の流れ

まちづくりの課題を踏まえ、今後以下の流れで計画策定を進めていきます。なお、素案がまとまり次第、次回のパネル展を実施する予定です。

まちづくり方針の検討

課題解決のための施策・誘導方針

誘導区域・誘導施設の検討 ⇄ 防災指針の検討

誘導施策の検討

目標値・達成評価手法の検討

計画素案の作成

パブリックコメントの実施

都市計画審議会の意見聴取

計画公表

詳細はこちらのQRコードから



是非ご覧ください

